

そつたくどうじ  
啐啄同時 ～平成 28 年度 P T A 総会 学校長あいさつから～

保護者のみなさま、こんにちは。本日は、お忙しいところ、P T A 総会にご出席いただき、ありがとうございます。また、平素は本校の教育活動に対しましてご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。



さて、平成 28 年度が始まり 1 ヶ月が経過しました。先ほど授業を見ていただきましたが、生徒たちはとても落ち着いた雰囲気です。学校生活が始まりました。本校は、小規模校の特徴を活かし、少人数による教科学習やいろいろな体験活動をとおして、生徒一人一人の資質・能力を伸ばすためにきめ細やかな指導を行ってまいります。



ところで、本校の中庭に「啐啄同時」と書かれた石碑があるのをご存知でしょうか。「啐」は鶏の卵が孵化しようとするとき雛が殻を内側からつつくことで、「啄」は親鶏がそれに応じて外から殻をつつくことを意味します。



つまり、「啐」と「啄」が同時に行われるように、生徒がそれぞれ自分の中に潜んでいる長所や能力に気づき、自ら大きく成長しようとするとき、教員はその機会を逃さずに指導や支援を行うということです。

「啐」と「啄」をタイミングよく効果的に行うために、学校と家庭が連絡を密に取りながら、共に力を合わせてお子様の成長を見守り、支えていきたいと考えております。

最後になりましたが、平成 27 年度 P T A 役員の皆様、大変お世話になりました。また、本年度新たに会員になりました皆様、そして、新役員の方々には、本年度いろいろお世話になりますが、何卒よろしく願いいたします。

(校長 高橋信之)

